

令和4年度 第1回 茨木市地域福祉推進分科会

- ◇ 日 時 令和4年7月28日(木曜日)
午後1時30分から
- ◇ 場 所 茨木市福祉文化会館4階
社会福祉協議会会議室
-

《次 第》

- 1 開 会
- 2 議 題

- ① 会長職務代理者の選出について
- ② 地域福祉計画（第3次）・社会福祉協議会地域福祉活動計画（第2次）の取組状況等について 資料1
- ③ 計画策定に向けた市民意向調査の実施について 資料2

- 3 その他
 - 4 閉 会
-

地域福祉計画（第 3 次）・社会福祉協議会地域福祉活動計画 （第 2 次）の取組状況等について

基本目標 1 お互いにつながり支え合える

市民が地域の課題を「我が事」としてとらえる意識の醸成と、様々な課題を「丸ごと」受け止める相談支援のネットワーク整備に努めます。

施策（1）見守り体制・つなぎ機能の強化

総合保健福祉計画で掲げる包括的な相談支援体制に基づき、各小学校区における発見・相談・見守り体制の強化とネットワークの整備を進めます。

- ・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）による相談支援の実施

対象者別相談延件数

	合計
令和元年度（14人）	17,505 件
令和 2 年度（14人）	22,758 件
令和 3 年度（14人）	29,623 件

（ ）内は年度末時点の CSW の人数

- ・健康福祉セーフティネットの推進

健康福祉セーフティネット会議の開催状況

	開催小学校区数	開催回数
令和元年度	32 校区	191 回
令和 2 年度	32 校区	157 回
令和 3 年度	32 校区	148 回

施策（2）地域福祉活動の推進

地域住民が地域課題に気づき、共感し、「我が事」と認識することができるような地域づくりを推進します。また、年齢や性別、障害の有無等にかかわらず、お互いにつながり支え合えるような環境整備に努めます。

- ・社会福祉法人の地域貢献への指導・助言

社会福祉法人が、社会福祉充実計画を策定し地域公益事業を実施する場合に意見聴取を行う場として、地域協議会を地域福祉推進分科会に設置しております。

該当する法人がなかったため、開催実績はありません。

・福祉事業推進基金について

【積立状況】

(単位：円)

	寄附金 (利子を含む)	一般財源	積立額	取崩し額	年度末残高
令和元年度	103,999,958	42	104,000,000	41,210,000	1,095,540,000
令和2年度	11,293,389	6,611	11,300,000	95,810,000	1,011,030,000
令和3年度	2,388,720	1,280	2,390,000	1,210,000	1,012,210,000

【充当状況】

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
私立保育所等建設補助事業	40,000	40,000	-
地区保健福祉センター開設事業	-	54,850	-
障害者社会参加促進事業	1,210	960	365
防犯関係事業	-	-	850

・地区行動計画を策定している地区数【社会福祉協議会】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地区行動計画策定地区数	9地区	10地区	10地区

施策(3) 民生委員・児童委員活動の推進

市民の身近な相談相手である民生委員・児童委員の活動について、市民への周知・啓発を行うとともに、民生委員・児童委員が活動しやすい環境の整備を進めることにより、民生委員・児童委員活動の推進に努めます。

(参考) 民生委員・児童委員委嘱状況

	令和3年度
民生委員・児童委員委嘱数	346人
民生委員・児童委員定数	382人
充足率	90.6%
主任児童委員委嘱数	31人
主任児童委員定数	32人
充足率	96.9%

(令和4年3月31日時点)

- ・民生委員・児童委員活動の市民への普及・啓発
民生委員・児童委員、主任児童委員街頭啓発活動

	実施日	実施場所
令和元年度	5月19日	立命館大学大阪いばらきキャンパス
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず	
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず	

施策（４） 更生保護活動の推進

過去に罪を犯した人たちの地域社会での立ち直りを助け、再び犯罪や非行に陥ることのない環境づくりを推進します。

- ・茨木市更生保護サポートセンターの設置・運営支援

【来所者数（月平均）】

	人数
令和元年度	156人
令和2年度	116人
令和3年度	101人

- ・「社会を明るくする運動」の推進

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることができるように、「社会を明るくする運動」において啓発のための行事や街頭宣伝活動等を実施しています。

1. 「社会を明るくする運動」街頭啓発活動

	実施日	実施場所	参加者数
令和元年度	7月1日	阪急茨木市駅、阪急南茨木駅、JR茨木駅 JR総持寺駅	226人
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず		
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず		

2. 「社会を明るくする運動」市民大会

	実施日	実施場所	内容	来場者数
令和元年度	7月13日	クリエイトセンター	演奏、講演 パネルディスカ ッション	226人
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず			
令和3年度	7月17日	クリエイトセンター	講演（動画配信）	535回 （動画再生回数）

基本目標 2 健康にいきいきと自立した生活を送る

生涯を通じた健康づくりと生活習慣病予防等に向けた取組や、自立した生活を送るために専門的な支援が提供できる体制整備を行います。

施策（1）生活困窮者の自立に向けた支援

生活困窮者自立支援制度に基づき、仕事が見つからない、将来に不安があるなど、困難を有する生活困窮者が制度の狭間に陥らないように、様々な機関と連携した支援体制の充実を推進します。

・生活困窮者の早期発見・早期支援

1. 暮らしサポートセンター「あすてっぷ茨木」での新規相談件数

令和元年度	令和2年度	令和3年度
565 件	2,039 件	1,155 件

2. 相談者の主訴（複数回答可）の上位5項目と新規相談件数に占める割合

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
収入・生活費のこと	294 件	52.0%	795 件	39.0%	532 件	46.1%
住居確保給付金や資金貸付のこと	-件	-%	1,262 件	61.9%	313 件	27.1%
病気や健康、障害のこと	173 件	30.6%	232 件	11.4%	194 件	16.8%
家賃やローン支払い	124 件	21.9%	470 件	23.1%	166 件	16.7%
仕事探し、就職について	148 件	26.2%	292 件	14.3%	193 件	14.4%

・就労支援対象者数

令和元年度	令和2年度	令和3年度
93 件	103 件	98 件

・生活困窮者自立支援事業の就労支援による就労実績・増収実績

令和元年度	令和2年度	令和3年度
29 件	77 件	55 件

・子どもの学習支援事業の推進

学習・生活支援事業の実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
北ブロック	27人	27人	19人
東ブロック	13人	15人	16人
西ブロック	4人	7人	3人
中央ブロック	7人	9人	6人
南ブロック	18人	11人	14人

・生活困窮者自立支援との連携【社会福祉協議会】

1. 生活福祉資金貸付事業

	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	相談 件数	貸 付 件 数	貸付総額 (円)	相談 件数	貸付 件数	貸付総額 (円)	相談 件数	貸付 件数	貸付総額 (円)
福祉資金	162	59	28,807,000	129	63	34,966,000	121	40	18,835,000
総合支援資金									
臨時特例 つなぎ資金	1	0	0	23	10	3,906,000	10	4	2,073,000
総合支援資金 【生活支援費】 (コロナ特例)*	6	0	0	7,219	1,559	1,151,240,000	5,131	2,183	1,230,480,000
不動産担保型 生活資金	11	0	0	7	0	0	11	0	0
緊急小口資金	9	6	558,000	41	12	1,137,000	7	6	507,000
緊急小口資金 (コロナ特例)*	163	2	400,000	5,962	1,718	326,030,000	3,598	970	190,100,000
生活復興資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	352	67	29,765,000	13,381	3,362	1,517,279,000	8,878	3,203	1,441,995,000

*新型コロナウイルス感染症特例貸付は、令和2年3月25日から受付開始

*総合支援資金（コロナ特例）には延長貸付、再貸付の件数も含む。

2. 善意銀行事業

物品預託された家電（テレビ、扇風機、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器など）や食料品（乾物、缶詰、レトルト食品など）や購入した食料品を必要に応じて生活困窮者自立支援事業及び学習・生活支援事業への支援で活用しています。

施策（２） 生活困窮者支援を通じた地域・関係づくり

生活困窮者の支援においては、個別の支援だけではなく、地域として生活困窮者等の早期発見や見守りができる体制を整備し、働く場や参加する機会を広げていくことが必要となります。生活困窮者が社会とのつながりを実感できるような地域づくりを目指します。

- ・スマイルオフィス事業の推進
受入人数および就労実績

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
受入人数	10人	9人	8人
就労実績	4人	5人	3人

基本目標 3 “憩える・活躍できる” 場をつくる

身近な地域で憩える居場所と、一人ひとりが培った力をいかせる場・機会を創出し、誰もが活躍できる地域づくりを目指します。

施策（1） 地域で活躍できる人材の育成

地域住民が、それぞれの個性や能力に応じた役割を担い、地域で活躍することができるような環境づくりを推進します。

・地域福祉活動の担い手づくり【社会福祉協議会】

1. ボランティア体験プログラム（7～11月）

協力施設・団体数：9プログラム

内容：主に夏季休暇期間で、1日から数日でも気軽にボランティア体験ができるプログラム。

体験者数：延 27 人

体験先内訳：高齢者関係 1 人、障がい者関係 2 人、地域 27 人

2. ボランティア講座

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
養成講座メニュー数	7種類	3種類	11種類

講座名（令和3年度実績）	月日	参加者
夏休みボランティア教室	令和3年7月24日、30日、31日、8月1日、8日	延113人
落語家に教わる話し方講座	令和3年7月30日	15人
デジタルフォトアルバム作り入門講座	令和3年8月4日	5人
手話・手話歌入門講座	令和3年8月22日	5人
不登校・ひきこもりってなんだろう～経験したからこそできること～	令和3年8月22日	3人
くす玉折で作るフランス人形入門講座	令和3年9月13日、30日	13人
高齢者サポートボランティア講座	令和3年10月21日、28日	延7人
精神保健福祉ボランティア入門講座	令和3年11月22日	11人
視覚障がい者サポートボランティア養成講座	令和3年11月27日	10人
ボランティア入門講座	令和4年3月4日	3人
カフェボランティア体験講座	令和4年3月25日	3人

※ボランティアの意義と役割について、毎回講話を実施

3. ボランティア交流会（個人ボランティアを中心に隔月第2月曜日開催）
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 他団体・機関での講座・研修会等への講師派遣協力（令和3年度実績）

月 日	対 象	場 所	内 容	参加者
令和3年 5月26日、 12月8日	向陽台高等 学校新卒コ ース2年生	向陽台高等学校	・ボランティア活動の説明及 び参加の心構え	延 230 人
令和3年 10月9日	点訳ボラン ティア入門 講習会参加 者	中央図書館	・ボランティアの心得	20 人
令和3年 10月28日	茨木シニア カレッジ受 講生（60歳 以上の市民）	社会福祉協議会 会議室	・地域活動体験コース「社会 福祉協議会の活動」	20 人
令和3年 11月5日	大阪人間科 学大学相談 援助実習指 導I受講生	大阪人間科学大 学床屋学舎	・社会福祉協議会における社 会福祉実践と実習生に望むこ と	40 人
令和4年 1月15日	西河原多世 代交流セン ターで活動 するボラン ティア	西河原多世代 交流センター	・ボランティアとは ・ボランティア活動の振り返 り	20 人
令和4年 1月20日	西河原多世 代交流セン ター登録ボ ランティア	西河原多世代交 流センター	・ボランティア交流会におけ るボランティアの心構え	20 人
令和4年 2月26日	「きらめき フェスタ 2021」ボラン ティアスタ ッフ	生涯学習センタ ーきらめき	・基本的なボランティアにつ いての考え方	10 人

・福祉教育の充実【社会福祉協議会】

小学校 14 校、中学校 1 校、ほか社会福祉協議会会議室で 1 回実施

施策（２） 地域の交流・活動拠点づくりの推進

地域での活動を支援していくためには、活動のための拠点の充実が必要です。地域住民の身近なところで地域福祉活動が展開され、きめ細やかな支援が提供されるように、活動拠点づくりを推進します。

・ぷらっとホーム事業推進【社会福祉協議会】

	令和元年度	令和２年度	令和３年度
ぷらっとホーム設置数	８か所	９か所	１０か所

基本目標４ 一人ひとりの権利が尊重される

お互いを理解し尊重し合える意識の醸成に努めるとともに、虐待防止や権利擁護の推進により要支援者を早期発見し適切な支援につなげます。

施策（１） 権利擁護の推進

・市民後見人の養成・活用

１．市民後見人養成講座受講者・バンク登録者の状況

	オリエンテーション参加者	基礎講習受講者	実務講習修了者	バンク登録者			年度末時点登録者
				新規登録	移管	退会	
令和元年度	17人	3人	2人	2人	0人	3人	10人
令和２年度	0人	0人	0人	0人	0人	0人	10人
令和３年度	-	1人	0人	0人	1人	1人	8人

※令和３年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講座オリエンテーション動画を配信

２．市民後見人の活動状況

	受任	辞任	活動中
令和元年度	0件	0件	0件
令和２年度	0件	0件	0件
令和３年度	0件	0件	0件

・成年後見審判（法定後見）市長申立てによる権利擁護

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
令和元年度	1件	0件	0件	1件
令和２年度	4件	0件	1件	5件
令和３年度	0件	0件	1件	1件

・日常生活自立支援事業【社会福祉協議会】

1. 相談、問合せ件数

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
令和元年度	78件	58件	81件	3件	220件
令和2年度	123件	54件	52件	6件	235件
令和3年度	60件	37件	79件	4件	180件

2. 契約件数（各年度末）

	認知症高齢者 (再掲：生保受給者)	知的障害者 (再掲：生保受給者)	精神障害者 (再掲：生保受給者)	計
令和元年度	28件 (22件)	29件 (11件)	36件 (23件)	93件 (56件)
令和2年度	31件 (21件)	29件 (9件)	35件 (22件)	95件 (52件)
令和3年度	30件 (19件)	30件 (8件)	34件 (26件)	94件 (53件)

3. 令和3年度末待機者数

待機者数	11人
------	-----

基本目標 5 安全・安心で必要な情報が活かされる

発信した情報が必要な人に届き、いかされる体制や、災害等の緊急時に市と関係機関が要配慮者の情報を共有・活用できる体制を整備します。

施策（2） 災害時の情報伝達体制、要配慮者の把握

地域で支え合い、助け合う関係を築く中で、要配慮者を把握し見守り、災害時等の緊急時に安否確認や支援を行うことができる仕組みを整備します。

・ネットワークを通じた要配慮者の把握

災害時避難行動要支援者名簿の状況（各年度1月1日時点）

	名簿掲載人数
令和元年度	8,357人
令和2年度	7,987人
令和3年度	7,557人

基本目標 6 社会保障制度の推進に努める

生活保護制度や介護保険制度等、社会保障制度の適正・円滑な運営に努めます。

施策（１）生活保護制度の適正実施

・生活保護の状況

1. 生活保護の窓口相談件数（各年度末）

	保護世帯数		保護人員		保護率 (%)
	世帯数	増減	人員	増減	
令和元年度	2,662	▲27	3,358	▲122	11.88
令和2年度	2,694	32	3,362	4	11.88
令和3年度	2,720	26	3,357	▲5	11.83
	窓口相談件数	窓口相談実人数	窓口申請受理数		受率率 (%)
令和元年度	1,503	723	394		54.50
令和2年度	1,667	870	453		52.06
令和3年度	1,393	749	455		60.75

2. 保護世帯の内訳（各年度末）

【世帯類型別】

	総世帯数	高齢者世帯		母子世帯		
		世帯数	割合 (%)	世帯数	割合 (%)	
令和元年度	2,662	1,474	55.37	120	4.51	
令和2年度	2,694	1,507	55.93	114	4.23	
令和3年度	2,720	1,532	56.32	109	4.01	
	障害者世帯		傷病者世帯		その他世帯	
	世帯数	割合 (%)	世帯数	割合 (%)	世帯数	割合 (%)
令和元年度	416	15.63	343	12.89	309	11.61
令和2年度	429	15.92	332	12.32	312	11.58
令和3年度	441	16.21	326	11.99	312	11.47

【世帯人員別】

	総世帯数	単身世帯		2人世帯		
		世帯数	割合 (%)	世帯数	割合 (%)	
令和元年度	2,662	2,157	81.03	376	14.13	
令和2年度	2,694	2,195	81.47	382	14.17	
令和3年度	2,720	2,243	82.46	370	13.60	
	3人世帯		4人世帯		5人以上世帯	
	世帯数	割合 (%)	世帯数	割合 (%)	世帯数	割合 (%)
令和元年度	89	3.34	26	0.98	14	0.53
令和2年度	83	3.08	24	0.89	7	0.25
令和3年度	77	2.83	18	0.66	12	0.44

施策（２） 社会福祉法人及び福祉サービス事業者への適正な指導監査

・社会福祉法人及び福祉サービス事業者への適正な指導監査

1. 実地指導

	障害福祉サービス事業所	介護保険サービス事業所
令和元年度	48 事業所	80 事業所
令和2年度	4 事業所	0 事業所
令和3年度	125 事業所	129 事業所

2. 集団指導

	障害福祉	居宅等	地域密着
令和元年度	270 事業所	375 事業所	118 事業所
令和2年度	0 事業所	0 事業所	0 事業所
令和3年度	311 事業所	388 事業所	126 事業所

(1) 市民意向調査の目的

市民の健康や福祉、地域での助け合いやボランティアなどに関する意識・実態を調査することで、令和5年度に策定を予定している各計画の基礎データとするとともに、今後の施策を検討するために必要な資料を得ることを目的として実施する。

(2) 市民意向調査の種類・概要

No.	分野	区分	対象	選定	配布・収集	客体数
1	地域福祉・健康	一般市民	18歳以上	無作為抽出	郵送	2,250
2		小学生	市内小学生（5年生）	無作為抽出	直接配布	1,100
3		中学生	市内中学生（2年生）	無作為抽出	直接配布	600
4	高齢者・介護保険	ニーズ調査	要介護認定を受けていない高齢者及び要支援認定者	無作為抽出	郵送	3,000
5		在宅介護実態調査	在宅介護サービス受給者	無作為抽出	郵送 認定調査員による聴き取り	1,800 200
6		介護保険事業者調査	市内で介護サービスを提供している事業者	無作為抽出	郵送	200
7	障害者・児	身体障害者	手帳所持者	無作為抽出	郵送	600
8		知的障害者		無作為抽出	郵送	600
9		精神障害者		無作為抽出	郵送	600
10		精神障害者（入院患者）	精神科病院に入院されている患者	無作為抽出	直接配布	300
11		就労支援サービス利用者	就労支援事業所利用者	無作為抽出	郵送	400
12		障害児	通所受給者証所持者	無作為抽出	郵送	500

(3) 市民意向調査の実施時期

令和4年10月～11月を予定

(4) 調査項目の検討について

地域福祉分野→地域福祉推進分科会の意見を聞き検討(担当課:福祉部地域福祉課)

健康分野→健康医療推進分科会の意見を聞き検討

(担当課:健康医療部健康づくり課)

問7 あなたは、現在家族の介護を担っていますか、また今後担う可能性がありますか（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 現在、介護を担っている | 2. 数年以内に介護を担う可能性がある |
| 3. 10年以内に介護を担う可能性がある | 4. 現時点で介護を担う可能性はない |
| 5. 過去に担っていた | 6. わからない |

問8 あなたは、茨木市にお住まいになられて何年になりますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 |
| 3. 5～10年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 5. 20年以上 | |

問9 茨木市に今後も住み続けたいと思いますか

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 住み続けたい（問10へ） | 2. できれば住み続けたい（問10へ） |
| 3. できれば市外に転出したい（問11へ） | 4. 市外に転出したい（問11へ） |

（問9で「1. 住み続けたい」もしくは「2. できれば住み続けたい」のいずれかを回答された方にお聞きします。）

問10 住み続けたいと思う理由は何ですか（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自然環境が良い | 2. 住環境が良い |
| 3. 交通の便が良い | 4. 子育て・教育環境が良い |
| 5. 福祉・医療のサービスが整っている | 6. 日常生活に必要な施設、ものが揃い便利 |
| 7. まちのイメージがいい | 8. 近くに親族、友人、頼れる人がいる |
| 9. 住み慣れている | 10. その他（ ） |

（問9で「3. できれば市外に転出したい」もしくは「4. 市外に転出したい」のいずれかを回答された方にお聞きします。）

問11 市外に転出したいと思う理由は何ですか（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 自然環境が良くない | |
| 2. 住環境が良くない（住宅が狭い、不便なところがある） | |
| 3. 交通の便が良くない | 4. 子育て・教育環境が良くない |
| 5. 福祉・医療のサービスが整っていない | |
| 6. 日常生活に必要な施設、ものが不足しており不便 | |
| 7. まちのイメージが良くない | 8. 近くに親族、友人、頼れる人がいない |
| 9. まちになじめない | 10. その他（ ） |

健康に関する意識や行動についてお聞きします。

健康医療部健康づくり課が案を作成し、健康医療分科会の意見を聞き、検討します。
(20～30問程度を予定)

地域とのつながりや地域での支え合い、助け合い活動の状況についてお聞きします。

問30 あなたは、ご近所の方と、どの程度お付き合いがありますか。(〇は1つ)

1. 以前から家族ぐるみの付き合いで、困った時には助け合える
2. 以前からよく知っており、行き来をする
3. 顔が合えば、立ち話や情報交換をする
4. 顔が合えば、あいさつをする
5. 隣近所にどんな人が住んでいるのかわからない
6. 近所付き合いはしない
7. その他 (具体的に: _____)

問31 地域とのつながりや地域での支え合い、助け合い活動の必要性をどのように感じますか。(〇は1つ)

1. とても必要だと思う
2. ある程度必要だと思う
3. あまり必要だと思わない
4. まったく必要だと思わない

→【問31で「3. あまり必要だと思わない」「4. まったく必要だと思わない」と回答された方にお聞きします。】

問32 その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 特に困ることが無いと思うから
2. 近所付き合いがわずらわしいから
3. 人との関わりが苦手だから
4. あまり家にいないから
5. その他 (具体的に: _____)

問33 別居や同居に関わらず、それぞれどれくらいの頻度で交流（話す・会う・電話・メールなど）がありますか（○はそれぞれ1つ）

(1) 親族（子ども・親・兄弟・祖父母ほか）

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1回程度 | 3. 月1～2回程度 |
| 4. 年数回程度 | 5. 全くない | 6. いない |

(2) 知人・友人

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1回程度 | 3. 月1～2回程度 |
| 4. 年数回程度 | 5. 全くない | 6. いない |

問34 この一年の間に、あなたは趣味活動や地域活動などに参加しましたか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 参加した（問35へ） | 2. 参加していない（問36へ） |
|---------------|------------------|

【問34で「1. 参加した」と回答された方にお聞きします。】

問35 どのような活動をされましたか。（○はいくつでも）

- | |
|---------------------------|
| 1. 趣味・娯楽・スポーツ活動 |
| 2. 自治会、こども会、PTAなどの活動 |
| 3. 地域の祭り、イベントなどの活動 |
| 4. 地域の清掃活動 |
| 5. 防犯に関する活動 |
| 6. 防災に関する活動（災害時の支援活動を含む） |
| 7. 児童の登下校見守り活動 |
| 8. 高齢者・障害者・子育て世帯等に対する福祉活動 |
| 9. 寄附による地域活動への支援 |
| 10. その他（具体的に： _____) |

問36 今後参加してみたい（続けたい）活動はありますか。（〇はいくつでも）

1. 趣味・娯楽・スポーツ活動
2. 自治会、こども会、PTAなどの活動
3. 地域の祭り、イベントなどの活動
4. 地域の清掃活動
5. 防犯に関する活動
6. 防災に関する活動（災害時の支援活動を含む）
7. 児童の登下校見守り活動
8. 高齢者・障害者・子育て世帯等に対する福祉活動
9. 寄附による地域活動への支援
10. その他（具体的に： _____)

問 37 民生委員・児童委員は、地域ごとに配置（市内に 400 人程度、平均約 300 世帯に 1 人）されており、地域の高齢者や子育て世帯、生活にお困りの方などの相談に応じ、市役所等と連携しながら見守りや支援を行っています。あなたは、この制度を知っていますか。（〇は1つ）

1. 活動内容も含めて知っている
2. 名称は聞いたことがある
3. 知らない・わからない

→（問 37 で「1. 活動内容も含めて知っている」もしくは「2. 名称は聞いたことがある」のいずれかを回答された方にお聞きします。）

問 38 あなたの地域を担当する民生委員・児童委員を知っていますか。（〇は1つ）

1. 会ったことがある
2. 会ったことはないが、知っている
3. 知らない・わからない

ボランティア活動の状況や参加意向についてお聞きします。

問39 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ある (→問40へ) | 2. ない (→問41へ) |
|---------------|---------------|

【問39で「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

問40 それはどのようなボランティア活動ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 高齢者の支援に関する活動 | 2. 障害者の支援に関する活動 |
| 3. 子育てに関する活動 | 4. 健康づくり・医療に関する活動 |
| 5. 清掃・美化に関する活動 | 6. 防犯・交通安全に関する活動 |
| 7. 防災・災害支援に関する活動 | 8. 生涯学習の指導・援助等に関する活動 |
| 9. 自然環境の保護に関する活動 | 10. 各種スポーツ指導等に関する活動 |
| 11. 青少年育成・支援に関する活動 | 12. 国際交流・国際協力に関する活動 |
| 13. その他 (具体的に: _____) |) |

【問39で「2. ない」と回答された方にお聞きします。】

問41 参加したことがないのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 仕事で忙しい | 2. 家事・育児などに忙しい |
| 3. 一緒に参加する人がいない | 4. 地域の行事や活動に興味がない |
| 5. 参加の方法がわからない | 6. 人間関係がむずかしそうだ |
| 7. 地域でやりたい活動がない | 8. 体力的に無理だから |
| 9. この地域に来て、まだ間もない | 10. いずれの活動も知らなかった |
| 11. その他 (具体的に: _____) |) |

【すべての方にお聞きします。】

問42 あなたは今後、ボランティア活動に参加したい(活動を続けたい)ですか。(〇は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. ぜひ参加したい・続けたい |
| 2. できそうな活動があれば参加したい・続けたい |
| 3. 友人や知人と一緒なら参加したい・続けたい |
| 4. 参加したくない |

茨木市の地域福祉に関する施策などについてお聞きします。

問43 あなたは、市等の福祉に関する施策や事業に関する情報を何から入手していますか。(〇はいくつでも)

1. 広報誌 (広報いばらき、社協だより)
2. 回覧板 (自治会報、福祉委員会だより等) や掲示板
3. インターネット (市のホームページ等)
4. SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
※インターネット上で登録された利用者同士が交流できる会員制サービス
5. 新聞やテレビ、ラジオ
6. 公共施設や病院等でのチラシやポスター
7. ご近所の方から (自治会・民生委員等を含む)
8. その他 (具体的に: _____)
9. 入手していない
10. わからない

問44 あなたが生活をしている上で困ったことや悩みごとはありますか。(〇はいくつでも)

1. 自分や家族の健康のこと
2. 自分や家族の経済的なこと
3. 自分や家族の将来のこと
4. 自分や家族の仕事のこと
5. 子育てに関すること
6. 家族内の人間関係
7. 災害時の備えに関すること
8. 地域・近隣との人間関係
9. 医療や介護のこと
10. 買い物の不便さ
11. 生きがいに関すること
12. その他 (具体的に: _____)
13. 困ったことや悩みごとはない
14. わからない

問45 あなたやご家族が健康や福祉に関して困った時に、相談している相手を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 医師・歯科医師・看護師
4. まちの薬局
5. 民生委員・児童委員
6. 自治会
7. 地区福祉委員
8. 社会福祉協議会
9. 地域包括支援センター
10. ケアマネジャー
11. 障害者相談支援センター
12. コミュニティソーシャルワーカー (CSW)
13. 市役所
14. 保育所・幼稚園・学校の先生
15. その他 (具体的に: _____)
16. 相談しようと思わない
17. どこに相談していいかわからない

問46 あなたがお住まいの地域で、課題に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 地域住民の交流の希薄化	2. 地域での防犯体制
3. 地域での防災体制	4. 要支援者(※)に対する見守り体制
5. 要支援者に対する災害時の対応	6. 地域活動の人材不足
7. 居場所・活動拠点の不足	8. その他(具体的に:)
9. 特にない	10. わからない

※要支援者: 何らかの支援が必要な高齢者、障害者、子ども等

問47 地域での福祉に関する課題解決のために効果的な方法は何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

1. 地域住民のつながり	2. 身近なところでの相談場所
3. 福祉の専門知識を持った相談員	4. 行政の福祉サービス
5. さまざまな地域福祉活動	6. 地域での情報共有(個人情報等含む)
7. その他(具体的に:)	8. 効果的な方法は見つからない
9. わからない	

問48 あなたは、地域における様々な課題への取り組み方として、次に挙げることの必要性についてどのように思いませんか。(1~4のそれぞれについて、〇は1つずつ)

	① とても必要 だと思う ↓	② ある程度必 要だと思う ↓	③ あまり必要 だとは思わ ない ↓	④ まったく必 要だとは思 わない ↓
1. 地域に住む一人ひとりが努力して いくこと(自助)	1	2	3	4
2. 家族や友人関係、近所付き合いな ど地域でお互いに支え合うこと (互助)	1	2	3	4
3. 年金や健康保険、介護保険などの 社会保険制度でもって共に支え 合うこと(共助)	1	2	3	4
4. 個人や地域など、民間の力では解 決できない問題に対して、行政 (公的機関)が行うこと(公助)	1	2	3	4

問49 あなたは、現在の「茨木市総合保健福祉計画」「茨木市地域福祉計画」に挙げている次の事業や制度をご存知ですか。（1～8のそれぞれについて、○は1つつつ）

	① 内容まで 知っている ↓	② おおまかな ことは知っ ている ↓	③ 名称を聞いたことがあ る程度 ↓	④ 知らない ↓
1. 健康福祉セーフティネット	1	2	3	4
2. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）	1	2	3	4
3. 障害者相談支援センター	1	2	3	4
4. 地域包括支援センター	1	2	3	4
5. 地区保健福祉センター	1	2	3	4
6. 生活困窮者自立支援事業	1	2	3	4
7. 成年後見制度	1	2	3	4
8. 更生保護サポートセンター	1	2	3	4

（用語注釈）

- 健康福祉セーフティネット：地域のあらゆる援護が必要な人を地域で支援するため、CSWがコーディネーターとなり、各小学校区単位で設置しているネットワーク。
- コミュニティソーシャルワーカー（CSW）：市内2～3の小学校区ごとに配置している福祉の専門職。健康福祉セーフティネットのコーディネート、地域の要援護者への支援、専門機関へのつなぎ等を行う。
- 障害者相談支援センター：障害者やその家族の総合相談窓口。必要な情報の提供や助言、福祉サービスの利用調整、地域での生活における総合的な支援を行う。
- 地域包括支援センター：高齢者の総合相談窓口。地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する。
- 地区保健福祉センター：属性や世代を問わない包括的な相談支援と、保健と福祉の連携を強化する体制を構築し、健康寿命の延伸や健康格差の解消と、支援を必要とする方の早期発見・早期対応を目指す地域に身近な拠点。市内5つの圏域ごとに整備を進めている。（令和4年4月現在 3圏域（東・西・南）に設置）
- 生活困窮者自立支援事業：生活が困窮する恐れがある人への自立に向けた総合的な支援（就労の支援や家計の支援等、本人の状況に応じた支援）を行う事業。
- 成年後見制度：認知症などの理由で判断力が不十分な方の権利を守るため、不動産や預貯金などの財産管理やサービスの契約などを本人に代わって行う代理人を法的に定める制度。
- 更生保護サポートセンター：犯罪・非行防止のための相談窓口として設置。保護司が常駐し、生活上の助言や就労支援、情報提供などを行っている。

問50 あなたは、現在の「茨木市社会福祉協議会地域福祉活動計画」に挙げている次の事業や制度をご存知ですか。（1～7のそれぞれについて、○は1つずつ）

	① 内容まで 知っている ↓	② おおまかな ことは知っ ている ↓	③ 名称を聞い たことがあ る程度 ↓	④ 知らない ↓
1. 地区福祉委員会	1	2	3	4
2. ボランティアセンター	1	2	3	4
3. 日常生活自立支援事業	1	2	3	4
4. ぷらっとホーム	1	2	3	4
5. 子育てサロン	1	2	3	4
6. いきいきサロン	1	2	3	4
7. 敬老会	1	2	3	4
8. 災害ボランティアセンター	1	2	3	4

（用語注釈）

1. 地区福祉委員会：地域住民で構成する社会福祉協議会の内部組織で、おおむね小学校区単位での地域福祉活動の中心的役割を担っている組織。
2. ボランティアセンター：ボランティア活動の需給調整やボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティアの育成と活動の支援を行っている場。
3. 日常生活自立支援事業：判断能力が不十分な認知症高齢者や知的・精神障害を持った方が地域において自立した生活が送れるようにするために、利用者との契約に基づき行う金銭管理や福祉サービスの利用援助等を行っている事業。
4. ぷらっとホーム：社会福祉協議会と地区福祉委員会とで整備を進めている地域活動の拠点として住民にとって身近な地域で、気軽に相談できたり集まって話し合いができたりする、気軽に“ぷらっと”立ち寄れる『地域の居場所』。
5. 子育てサロン：子育て中の親子等が気軽に集まり、地域の方々と子どもの成長について学んだり、子育てについての交流や相談活動を行う場。
6. いきいきサロン：地域にお住まいの方を対象として、身近な場所で地区福祉委員と参加者が共に協働して企画、運営する気軽で楽しい仲間づくり、生きがいくりの場。
7. 敬老会：地域の高齢者の長寿と健康を、地域をあげて祝う会。
8. 災害ボランティアセンター：災害発生時に市との協定に基づき、地域の復興支援ができるよう災害ボランティアの円滑な需給調整をする場。

(6) 調査項目 (案) 【小中学生】

地域とのつながりについてお聞きします。

問● あなたは、近所の人と出会ったとき、あいさつをしていますか。(○は1つ)

1. 必ずあいさつをしている
2. あいさつをしてくれる人だけにしている
3. あいさつをしないことが多い
4. 出会うことが少ない

問● あなたは、地域での活動に参加していますか。(○はいくつでも)

1. 地域の祭り
2. 地域のイベント(運動会、スポーツ大会など)
3. 地域の^{せいそう}清掃活動
4. 地域の防災活動
5. 自治会、こども会、老人クラブなどの活動、行事
6. 地域のボランティア活動
7. その他(具体的に：)
8. 参加していない

問● 茨木市に対する意見などがあれば、どのようなことでも良いので、記入してください。